

# 施設別データ

施設番号	1301
調査年度	平成30年度

施設名	にしお市民活動センター		
-----	-------------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	市民部 地域つながり課
-----	-----	-----	--------	------	-------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	鶴ヶ崎町6番地2 (西尾中学校地区)	敷地面積	2,125.39 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本館、軽運動室、物置、倉庫				
複合・併設施設	-	建築年月	S43.3		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	970.91 m <sup>2</sup>	総取得費	30,661 千円
階数	3階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	C	構造体劣化調査	A	健全度判定	C
------	---	---------	---	-------	---

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	範囲外	低い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

## 5 避難所指定

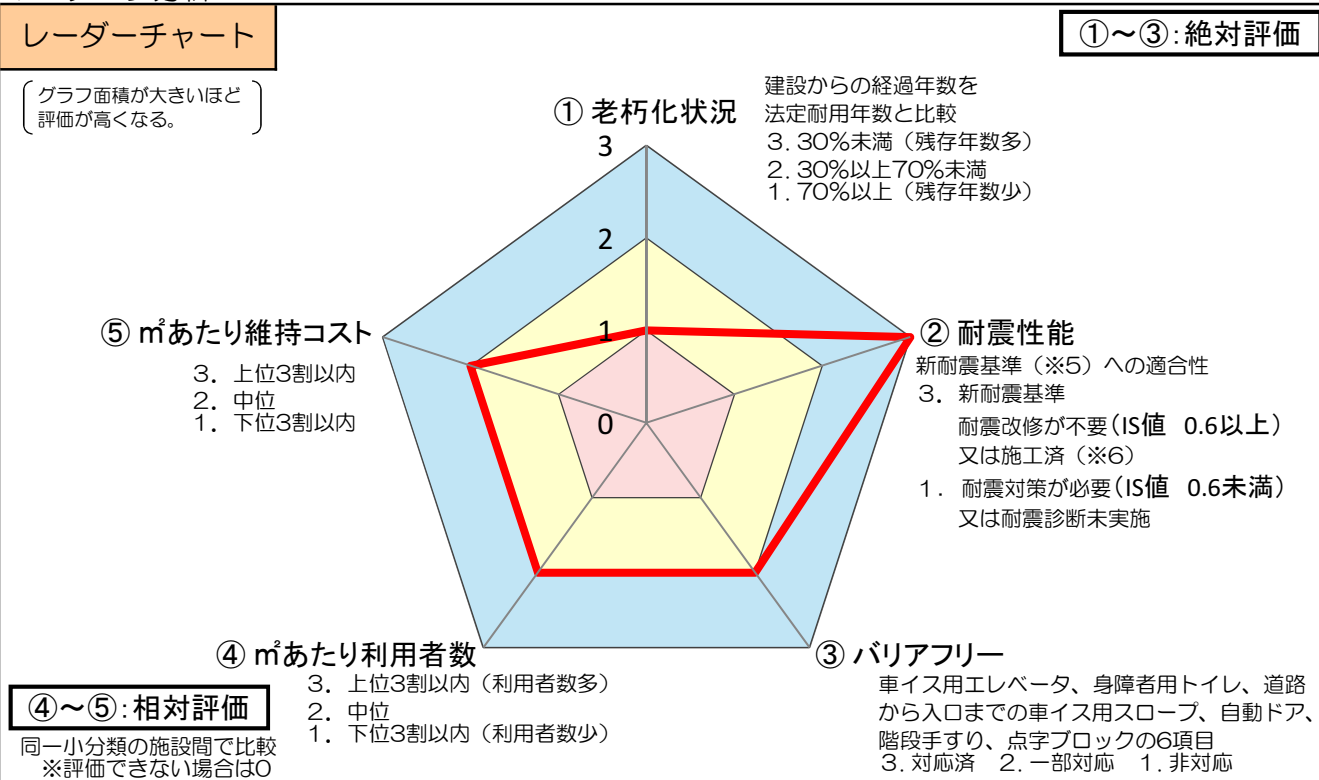
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	23,453 人	22,419 人	22,861 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	308 日	一部業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
修繕料				209,736	
火災保険料	12,854				
維持管理委託料	2,174,785				
敷地借上料	-				
工事請負費	788,400				
その他維持費	-				
小計	3,185,775				
② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-			
	燃料費	1,250			
	光熱水費	857,513			
	指定管理料	-			
	その他委託料	8,459,128			
その他運営費	1,999,240				
小計	11,317,131				
合計 (①+②)					14,502,906
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり		
	634 円/人	84 円/人	14,937 円/m <sup>2</sup>		

## 7 データ分析



### レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

① 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建設からの経過年数を法定耐用年数と比較して%表示 1- (法定耐用年数までの残存年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	102.00 (%)
② 耐震性能	主な建物に対する耐震安全性を示す指標 「IS値」、「新耐震基準の該当の有無」から耐震性能の有無を表示	有
③ バリアフリー	主な建物に対するバリアフリーのための整備状況を示す指標 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応していない場合「一部対応」、全くしていない場合「非対応」と評価。	一部対応
④ mあたり利用者数	延床面積1mあたりの年間利用者数を示す指標 (人/m) 年間利用者数÷延床面積 数値が高いほど利用者数が多い。利用者数が不明、0人の施設は評価点を「1」としている。	23.55 人/m
⑤ mあたり維持コスト	延床面積1mあたりの施設維持にかかるコストを示す指標 (円/m) ①施設維持コスト小計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持にコストがかかっている	3,281 円/m

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)  
「延床面積1mあたり」…維持管理・運営費÷延床面積  
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1302
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	吉田地区コミュニティセンター		
-----	----------------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	市民部 地域つながり課
-----	-----	-----	--------	------	-------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	吉良町吉田東中浜27番地3 (吉良中学校地区)	敷地面積	6,558.51 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本館				
複合・併設施設	-		建築年月	H11.2	
建物構造	鉄骨造	延床面積	192.50 m <sup>2</sup>	総取得費	43,050 千円
階数	1階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
1.0m~2.0m未満	1時間30分以内	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

## 5 避難所指定

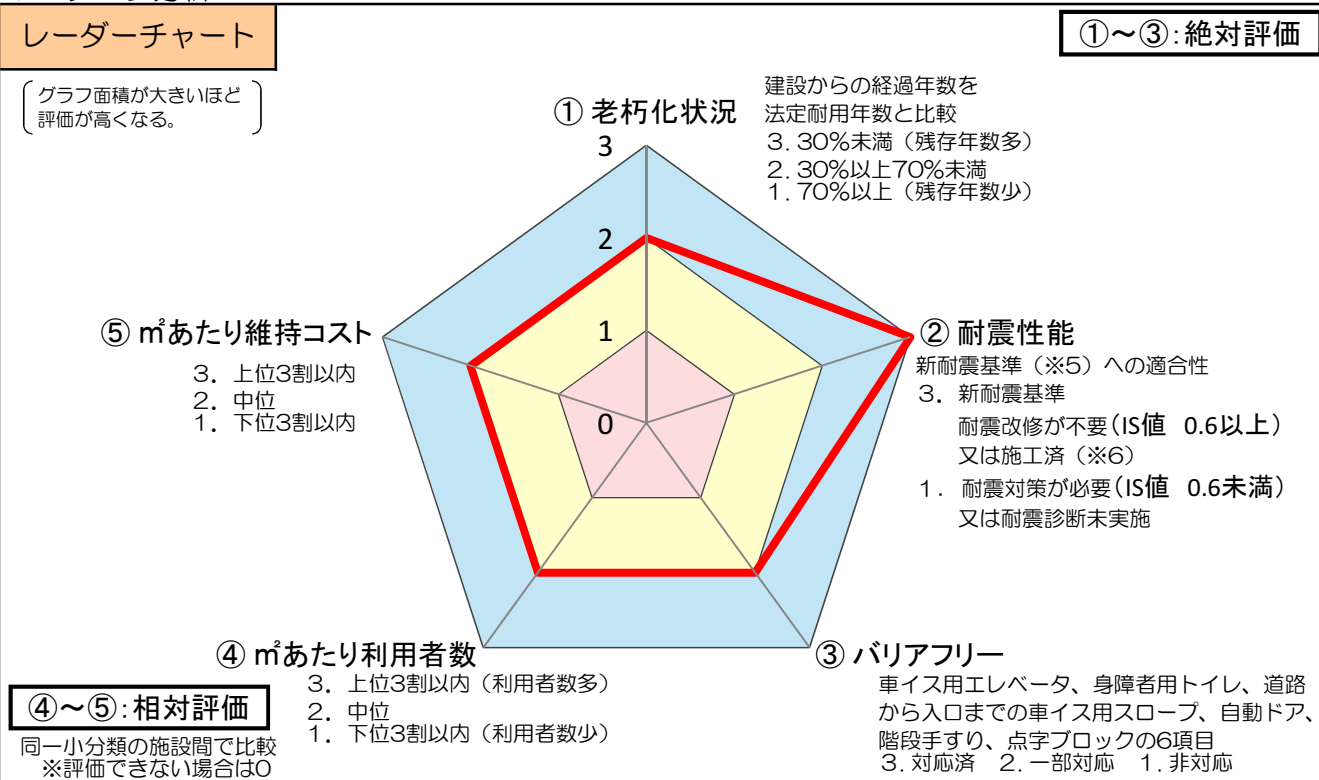
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
○	○	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	3,159 人	3,919 人	3,206 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	365 日	直接運営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す 経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	80,244	
				火災保険料	9,131	
				維持管理委託料	225,738	
				敷地借上料	-	
				工事請負費	-	
				その他維持費	-	
				小計	315,113	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				12,149		
光熱水費	97,298					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	51,190					
小計	160,637					
合計 (①+②)	475,750					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり			
	148 円/人	3 円/人	2,471 円/m <sup>2</sup>			

## 7 データ分析



### レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

① 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建設からの経過年数を法定耐用年数と比較して%表示 1- (法定耐用年数までの残存年数÷法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	52.63 (%)
② 耐震性能	主な建物に対する耐震安全性を示す指標 「IS値」、「新耐震基準の該当の有無」から耐震性能の有無を表示	有
③ バリアフリー	主な建物に対するバリアフリーのための整備状況を示す指標 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応していない場合「一部対応」、全くしていない場合「非対応」と評価。	一部対応
④ mあたり利用者数	延床面積1m <sup>2</sup> あたりの年間利用者数を示す指標 (人/m <sup>2</sup> ) 年間利用者数÷延床面積 数値が高いほど利用者数が多い。利用者数が不明、0人の施設は評価点を「1」としている。	16.65 人/m <sup>2</sup>
⑤ mあたり維持コスト	延床面積1m <sup>2</sup> あたりの施設維持にかかるコストを示す指標 (円/m <sup>2</sup> ) ①施設維持コスト小計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持にコストがかかっている	1,637 円/m <sup>2</sup>

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)  
「延床面積1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費÷延床面積  
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1303
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	奥田町集会場		
-----	--------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	総務部 財政課
-----	-----	-----	--------	------	---------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	奥田町一丁目130番地 (寺津中学校地区)	敷地面積	115.00 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	115.00 m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本館				
複合・併設施設	-		建築年月	H3.3	
建物構造	鉄骨造	延床面積	149.04 m <sup>2</sup>	総取得費	30,040 千円
階数	1階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
1.0m~2.0m未満	2時間以内	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	

## 5 避難所指定

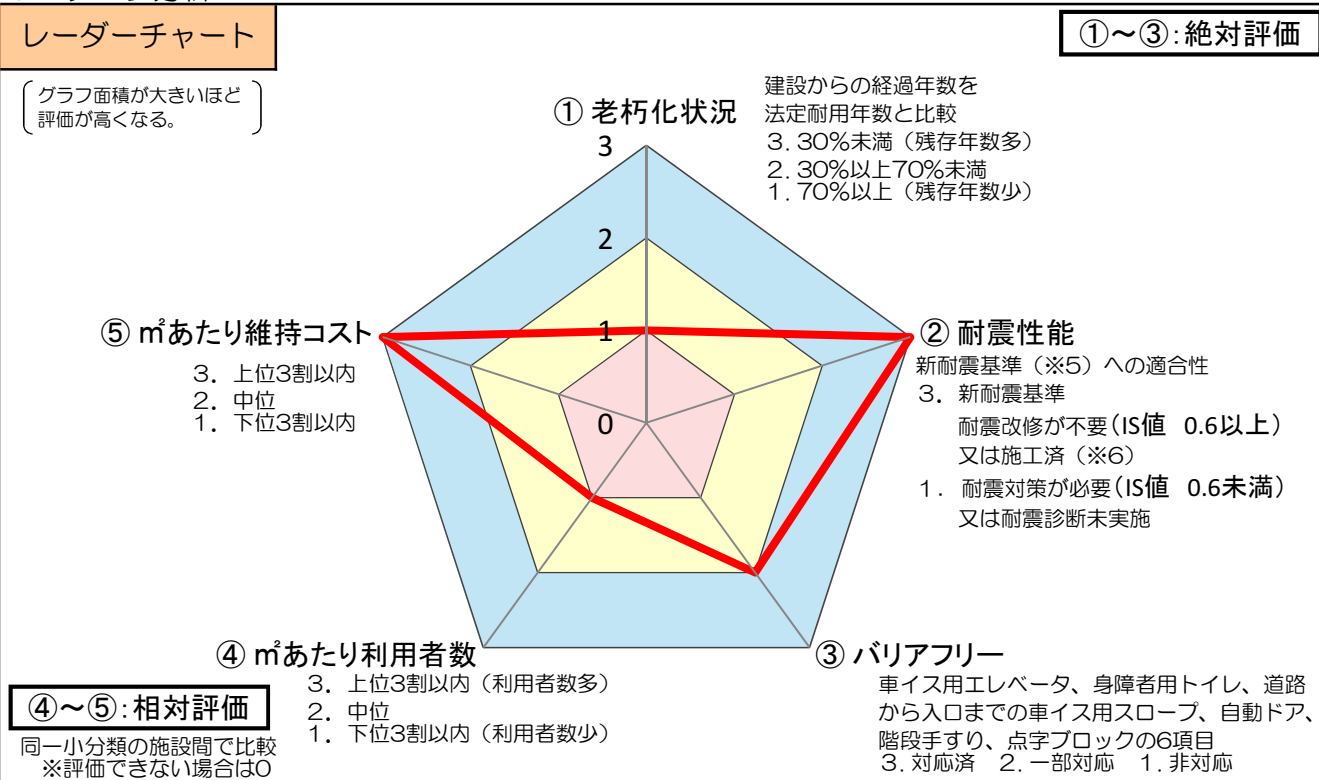
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	不明 人	不明 人	不明 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	0 日	直接運営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
				修繕料	-	
				火災保険料	5,135	
				維持管理委託料	-	
				敷地借上料	-	
				工事請負費	-	
				その他維持費	-	
				小計	5,135	
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
燃料費				-		
光熱水費	-					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	-					
小計	-					
合計 (①+②)	5,135					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり - 円/人	市民1人あたり 0 円/人	延床面積1m <sup>2</sup> あたり 34 円/m <sup>2</sup>			

## 7 データ分析



### レーダーチャートで示す6つの指標 (主たる施設のみ)

① 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 (%) 建設からの経過年数を法定耐用年数と比較して%表示 1- (法定耐用年数までの残存年数 ÷ 法定耐用年数) 複数棟の場合は主な建物で算定 数値が高いほど老朽化が進んでいる。	73.68 (%)
② 耐震性能	主な建物に対する耐震安全性を示す指標 「IS値」、「新耐震基準の該当の有無」から耐震性能の有無を表示	有
③ バリアフリー	主な建物に対するバリアフリーのための整備状況を示す指標 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応していない場合「一部対応」、全くしていない場合「非対応」と評価。	一部対応
④ mあたり利用者数	延床面積 1m <sup>2</sup> あたりの年間利用者数を示す指標 (人/m <sup>2</sup> ) 年間利用者数 ÷ 延床面積 数値が高いほど利用者数が多い。利用者数が不明、0人の施設は評価点を「1」としている。	— 人/m <sup>2</sup>
⑤ mあたり維持コスト	延床面積 1m <sup>2</sup> あたりの施設維持にかかるコストを示す指標 (円/m <sup>2</sup> ) ①施設維持コスト小計 ÷ 延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持にコストがかかっている	34 円/m <sup>2</sup>

※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 ÷ 利用者数 (H30)  
「延床面積 1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費 ÷ 延床面積  
「市民一人あたり」…維持管理・運営費 ÷ 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1304
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	寺津地域漁民センター		
-----	------------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	建設部 河川港湾課
-----	-----	-----	--------	------	-----------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	寺津町東一割5番地2 (寺津中学校地区)	敷地面積	- m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本館				
複合・併設施設	-		建築年月	H5.3	
建物構造	鉄骨造	延床面積	340.65 m <sup>2</sup>	総取得費	66,990 千円
階数	2階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
0.3m~1.0m未満	3時間以上	高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

## 5 避難所指定

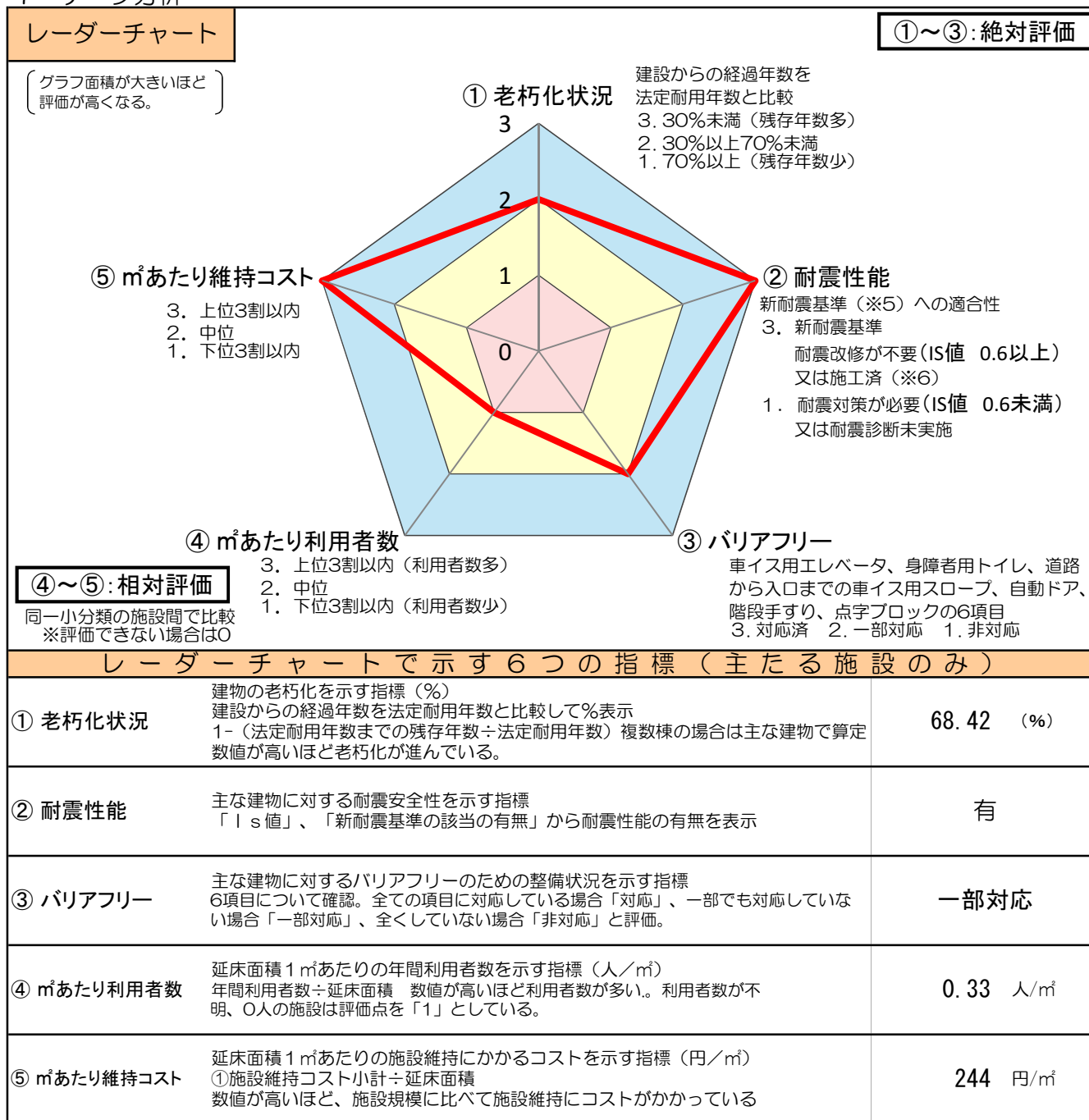
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	- 人	114 人	113 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	0 日	直接運営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す する経費 + ②施設運営コスト 施設を運営する ために要する経 費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
					修繕料	-
					火災保険料	11,911
					維持管理委託料	71,064
					敷地借上料	-
					工事請負費	-
					その他維持費	-
					小計	82,975
				②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-
				燃料費	-	
	光熱水費	43,515				
	指定管理料	-				
	その他委託料	-				
	その他運営費	-				
	小計	43,515				
	合計 (①+②)	126,490				
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり			
	1,119 円/人	1 円/人	371 円/m <sup>2</sup>			

## 7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 利用者数 (H30)  
 「延床面積1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 延床面積  
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。



# 施設別データ

施設番号	1305
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島開発総合センター		
-----	-------------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	-----	-----	--------	------	--------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島掛梨40番地 (佐久島中学校地区)	敷地面積	1,346.46 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	本館				
複合・併設施設	佐久島出張所(1110)、佐久島保育園(4122)		建築年月	S56.11	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	660.72 m <sup>2</sup>	総取得費	90,300 千円
階数	2階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B
------	--------	---------	--------	-------	---

## 4 災害対応 (※2)

津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
範囲外	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

## 5 避難所指定

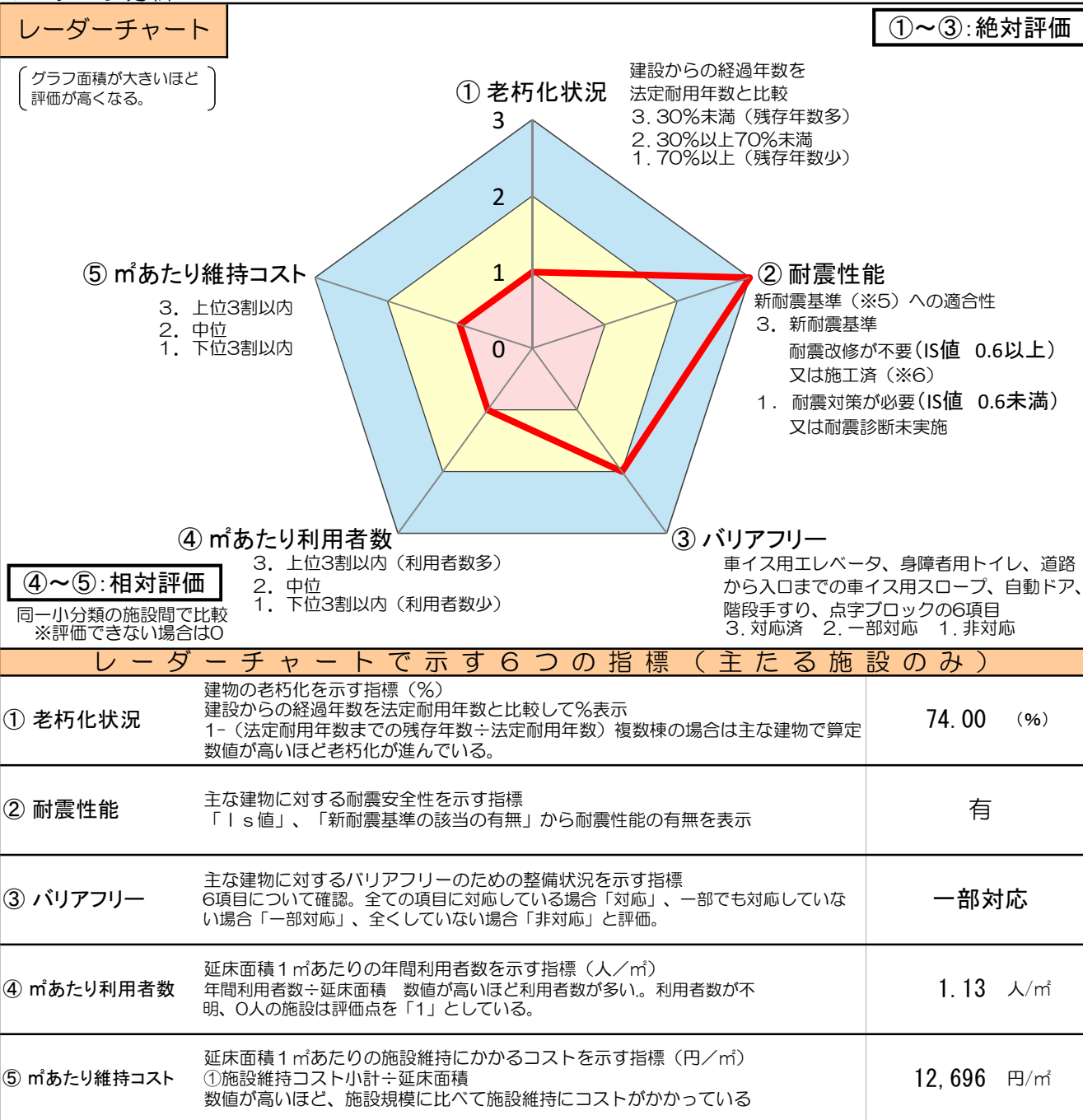
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
○	○	○	○	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	473 人	1,116 人	748 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	244 日	直接運営	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す る経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費 (賃金含)	6,465,000
					修繕料	935,420
					火災保険料	4,270
			維持管理委託料	360,854		
			敷地借上料	-		
			工事請負費	-		
			その他維持費	53,873		
			小計	8,388,722		
			②施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-	
				燃料費	103,472	
				光熱水費	715,756	
				指定管理料	-	
				その他委託料	-	
				その他運営費	104,727	
				小計	923,955	
				合計 (①+②)	9,312,677	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり			
	12,450 円/人	54 円/人	14,095 円/m <sup>2</sup>			

## 7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)  
 「延床面積1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費÷延床面積  
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1306
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島行船のりば		
-----	----------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	-----	-----	--------	------	--------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町小藪船江東169番地 (一色中学校地区)	敷地面積	1,219.46 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	佐久島行船のりば、自転車置場2棟、屋根付通路				
複合・併設施設	-		建築年月	H22.4	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	301.02 m <sup>2</sup>	総取得費	54,666 千円
階数	2階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	A (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	A (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
1.0m~2.0m未満	1時間以内	極めて高い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	

## 5 避難所指定

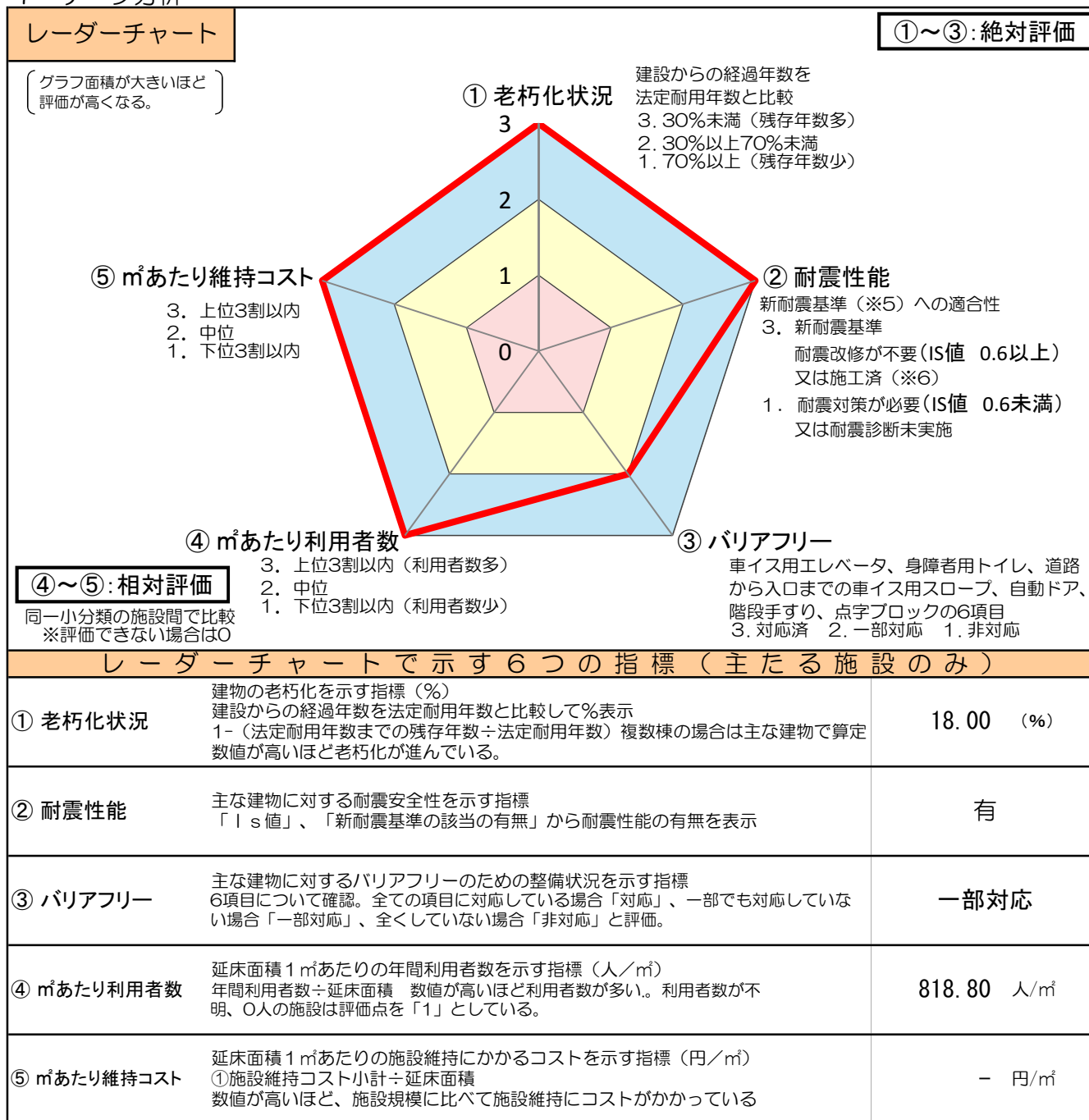
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	239,691 人	255,649 人	246,475 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	365 日	業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す 経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト ② 施設運営コスト 維持管理・運営費	人件費 (賃金含)	-
		修繕料		-	
		火災保険料		-	
		維持管理委託料		-	
		敷地借上料		-	
		工事請負費		-	
		その他維持費		-	
		小計		-	
		人件費 (賃金含)		-	
		燃料費		-	
		光熱水費	-		
		指定管理料	-		
		その他委託料	-		
		その他運営費	-		
		小計	-		
		合計 (①+②)	-		
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり		
	0 円/人	0 円/人	0 円/m <sup>2</sup>		

## 7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)  
「延床面積1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費÷延床面積  
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1307
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島東港休憩所		
-----	----------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	-----	-----	--------	------	--------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島東屋敷88番地 (佐久島中学校地区)	敷地面積	732.00 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	休憩所(渡船場待合室)、公衆トイレ				
複合・併設施設	-	建築年月	H7.3		
建物構造	木造	延床面積	124.47 m <sup>2</sup>	総取得費	25,853 千円
階数	1階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
2.0m~3.0m未満	1時間以内	低い	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊	-	-	-	
-	-	-	-	-	

## 5 避難所指定

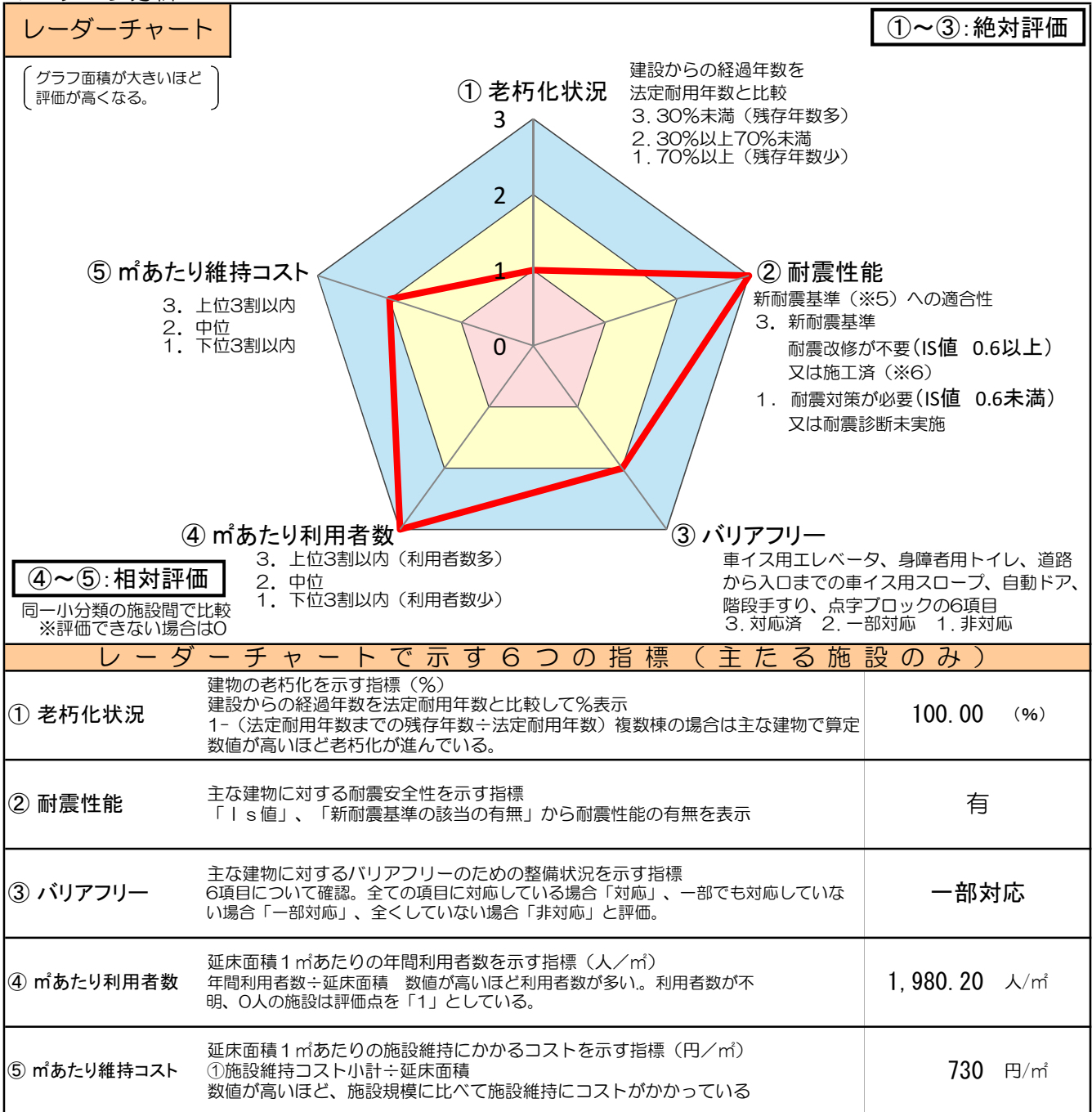
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	239,691 人	255,649 人	246,475 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	365 日	業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)	施設外観		コスト内訳		金額 (円)
			① 施設維持コスト	人件費 (賃金含)	-
修繕料				-	
火災保険料	2,865				
維持管理委託料	77,965				
敷地借上料	-				
工事請負費	-				
その他維持費	10,000				
小計	90,830				
② 施設運営コスト	人件費 (賃金含)	-			
	燃料費	-			
	光熱水費	80,076			
	指定管理料	-			
	その他委託料	-			
その他運営費	-				
小計	80,076				
合計 (①+②)				170,906	
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり 1 円/人	市民1人あたり 1 円/人	延床面積1m <sup>2</sup> あたり 1,373 円/m <sup>2</sup>		

## 7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費÷利用者数 (H30)  
「延床面積1mあたり」…維持管理・運営費÷延床面積  
「市民一人あたり」…維持管理・運営費÷人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。

# 施設別データ

施設番号	1308
------	------

調査年度	平成30年度
------	--------

施設名	佐久島西港休憩所		
-----	----------	--	--

大分類	庁舎等	小分類	その他の施設	所管部課	地域振興部 佐久島振興課
-----	-----	-----	--------	------	--------------

## 1 土地データ

所在地 (中学校地区)	一色町佐久島波ヶ崎84番地 (佐久島中学校地区)	敷地面積	1,142.00 m <sup>2</sup>
		うち借上面積	- m <sup>2</sup>

## 2 建物データ (複数棟の場合、建築年月・建築構造・階数は主な建物データによる。3 建物の総合判定も同じ)

構成施設	観光案内所(渡船場待合室)、公衆トイレ				
複合・併設施設	-		建築年月	H6.3	
建物構造	鉄骨造	延床面積	42.25 m <sup>2</sup>	総取得費	31,048 千円
階数	2階	うち借上面積	- m <sup>2</sup>		

( )内は地階

## 3 建物の総合判定 (構造体劣化調査・健全度判定の調査結果による) (※1)

総合判定	B (推計)	構造体劣化調査	A (推計)	健全度判定	B (推計)
------	--------	---------	--------	-------	--------

## 4 災害対応 (※2)


津波浸水深	津波到達時間	液状化の可能性	土砂災害警戒区域		
1.0m~2.0m未満	1時間以内	計算対象層無し	土石流	急傾斜地の崩壊	地滑り
			-	-	-
土砂災害特別警戒区域		急傾斜地崩壊危険箇所	地滑り危険箇所	土石流危険流域	
土石流	急傾斜地の崩壊				
-	-	-	-	-	-

## 5 避難所指定

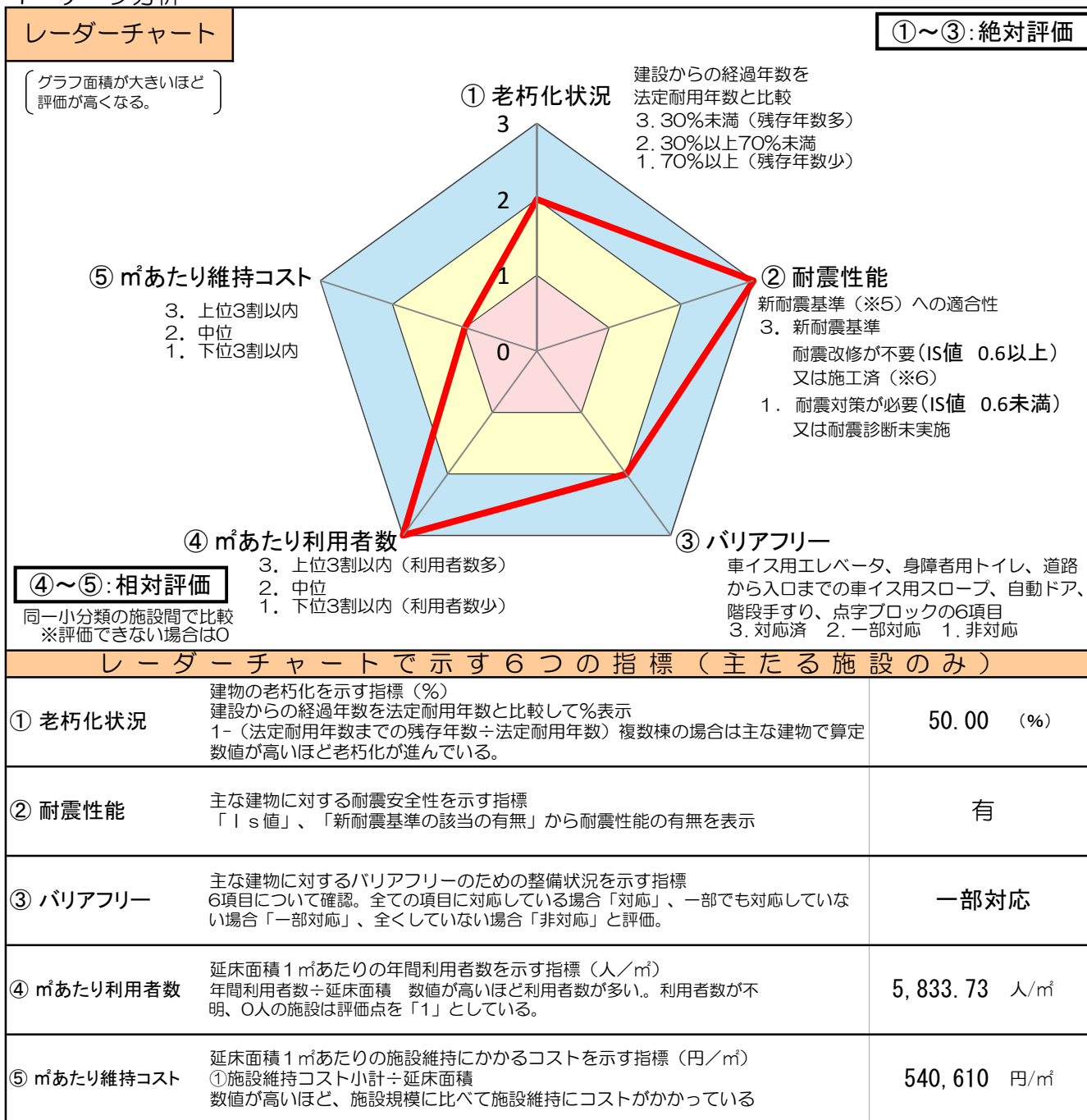
地震		津波		
指定緊急避難場所	指定避難所	指定緊急避難場所	指定避難所	津波一時待避所
-	-	-	-	-

## 6 管理運営データ

利用状況 (※3)	H28	H29	H30
	239,691 人	255,649 人	246,475 人
	年間開館日数 (H30)	管理形態	
	365 日	業務委託	

H30決算ベース ファシリティ コスト (施設コスト)  ①施設維持コスト 施設を維持管理 するために要す る経費 + ②施設運営コスト 施設を運営す るために要す 経費	施設外観		コスト内訳		金額 (円)	
			維持管理・運営費	①施設維持コスト	人件費(賃金含)	-
				修繕料	15,660	
				火災保険料	920	
				維持管理委託料	134,179	
				敷地借上料	-	
				工事請負費	22,680,000	
				その他維持費	10,000	
				小計	22,840,759	
				②施設運営コスト	人件費(賃金含)	-
燃料費				-		
光熱水費	18,536					
指定管理料	-					
その他委託料	-					
その他運営費	-					
小計	18,536					
合計 (①+②)	22,859,295					
コスト計算 (※4)	利用者1人あたり	市民1人あたり	延床面積1m <sup>2</sup> あたり			
	93 円/人	133 円/人	541,048 円/m <sup>2</sup>			

## 7 データ分析



※1 建物の総合判定：構造体劣化調査と健全度判定の結果から総合判定を行なっている。判定の序列はD→C→B→Aの順に良くなる。(推計)は、調査していないが、類似建物と比較して評価したもの。複合施設の場合は、主たる施設で判定。

※2 災害対応：以下の公開情報より抜粋。津波浸水深、津波到達時間…「西尾市ハザードマップ」、液状化の可能性…「愛知県防災学習システム 防災マップ」、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域…「マップあいち 土砂災害情報マップ」、避難所(地震・津波)…「西尾市地域防災計画」

※3 利用状況：各課作成の概要調書の数値を採用

※4 コスト計算：「利用者一人あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 利用者数 (H30)  
 「延床面積1m<sup>2</sup>あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 延床面積  
 「市民一人あたり」…維持管理・運営費 $\div$ 人口 (平成31年4月1日現在の172,424人)

※5 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準 (マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている) のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

※6 IS値：建物の耐震指標のこと。耐震改修促進法等では、耐震指標の判定基準を0.6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要性があると判断される。